

# なぜ火災事故は無くならないのでしょうか？

なぜこんなに頻繁に火災事故が発生するのでしょうか？  
様々な原因が考えられますが、清掃課では次のようなことを主な理由と考えています。

## 狛江市のごみの出し方を知らない

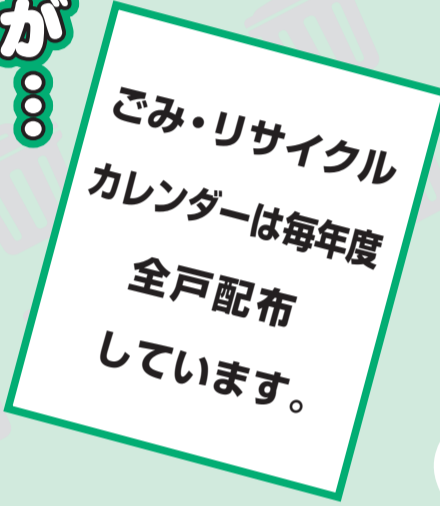
市内には、住民登録をしていない学生などの単身世帯が多く、そもそも狛江市が分別収集をしていることをご存知いただけない方が多く存在するようです。「知らないはずはない」「そんな当たり前のことを知らない人なんている訳がない」と思われる方もいらっしゃると思います。しかし、ごみの収集は各自治体の責任で行うことになっており、住んでいる自治体によって分別の仕方や出し方は様々です。

大学や専門学校入学を機に一人暮らしを始めた方等は、それまで自宅でごみの分別やごみ出しなどをやったことがない方がほとんどではないでしょうか？このような状況であれば知らなくても当然とも言えます。

清掃課では毎年2月の下旬から3月の中旬頃に新しいごみ・リサイクルカレンダーを全戸配布しています。

## 分別は知っていても…

狛江市のごみの分別内容は理解していただいても、「一本ぐらいいいだろう」とか「面倒くさいから…」とお考えの方や、金属でできているスプレー缶等は不燃ごみと「勘違い」をしていたり、「思い込んでいたり」する方はいらっしゃるいませんか？自分勝手な対応や思い込みが取り返しのつかない事態を引



き起こします。訳もなく分別をしていただいているはどうだっけ？」と思ったときには、ごみリサイクルカレンダーを活用してください。見ても分からないときは、どんな些細なことでも結構ですので、清掃課にお問い合わせください。



## 第三小学校学習発表会

## ごみ問題はみんなの問題です。一人ひとりに責任があります。

一人ひとりの小さな取り組みが大きな取り組みになり、世の中の主流になることがあります。逆に、ほんの些細なことが、世の中に大きな悪影響を与えることもあります。今取り上げた不燃ごみへの発火物の混載についても、これと同じことが言えます。たった一本のスプレー缶が原因で、狛江市のみならず、稲城市・府中市・国立市のごみ処理ができなくなってしまう状況を引き起こしてしま

まうことも十分考えられます。このような状況になれば、皆さんの自宅から収集することもできなくなってしまうと思います。ごみの問題はみんなの問題であり、一人ひとりに責任があります。社会の一員である以上は無関係でいられる人は一人もいません。社会というコミュニティから離れて、ひとりでごみ処理の生活をしていたらその人は別ですが…

去る11月22日(土)第三小学校では全校をあげて学習発表会が行なわれた。この発表会に先立って、6年生の担任の先生からごみ問題に関するテーマを取り上げるため、事前に勉強会の講師をお願いしたいとのありがたいご連絡をいただいた。清掃課としても、これからの社会を担う子供たちに直接ごみ問題の窮状を話せるまたとない機会に緊張を覚えた。11月17日(月)の午後第三小学校にお邪魔して勉強会は始まった。給食を食べておなが一杯だったのか、何人かの生徒たちは始め退屈そうな様子に見えたが、話を進めていくうちに、79名の真直ぐな眼差しが自分に向けられていることに気がつき鳥肌が立った。みんな真剣に聞いてくれていた。自分が話した内容がどれくらいみんなに伝わったのかとても気になったので、発表会には朝一番から参観させていただいた。6年生はおおとり。テーマは「未来に生きる・狛江に生きる」。ごみの問題も含めた壮大なテーマで、地球誕生の歴史に即して話が展開され、

様々な分野の話を書きこんで聞かされてきた。整理されていた。すばい！さらには、このままでは50年後の自分達の生活はどうなってしまうのか？として、視線を未来に向けて、大事なことはみんなが自分の問題として考えてできることをきちんとやること、と。最後には、参観している大人にごみ問題の窮状を訴える一幕も…伝えたかったことはみんなちゃんと理解してくれていた。今回自分自身が一番勉強させてもらったのかもしれない。みんなありがとう。とてもかっこよかったよ!!

